

令和4年度入学試験問題

受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号(算用数字)、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
3. 科目およびページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

科目	ページ
日本史	2～12
世界史	14～28
地理	30～44
政治・経済	46～58

4. 受験票を試験時間中は、机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を上げて合図してください。
6. 試験時間中の退場は認めません。
7. 試験時間は地理歴史・公民と国語で80分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

日本史

〔 I 〕 次の文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

645年、中臣鎌足は、蘇我倉山田石川麻呂らとともに中大兄皇子（のちの天智天皇）に協力し、蘇我蝦夷・入鹿を滅ぼした。孝徳天皇が即位し、鎌足は [a] に任ぜられ、その政権に参加した。669年、鎌足の臨終の際、天智天皇より「藤原」の姓を賜り、ここに藤原氏は始まった。

鎌足の子・不比等は、大宝律令の編纂に [b] らともにかかわり、続く養老律令の編纂においてもその中心となったといわれる。不比等は娘の宮子を [c] 天皇のきさき妃として嫁がせ、宮子は皇子（のちの聖武天皇）を産んだ。やがて不比等は皇子に娘光明子を嫁がせ、光明子のはちに皇后となった。こうして不比等は、朝政への影響力を増していく政治的な手法の端緒をつくった。

不比等の子・武智麻呂は南家、房前は北家、宇合は式家、麻呂は京家の祖となり、藤原四子とも呼ばれる。南家では、武智麻呂の子・仲麻呂が光明皇太后の信任を得て太政大臣となった。しかし仲麻呂は、孝謙太上天皇・道鏡と対立し、764年、兵乱を起こすが朝廷側に敗北し斬首に処せられた。式家では、宇合のあと、740年に d 子の広嗣が兵乱を起こした。さらに、810年、同じく式家の仲成・薬子は平城太上天皇の復位を画す政変を起こしたが失敗し、式家の権勢は弱体化する。このとき、北家の冬嗣は最初の蔵人頭に任ぜられ、同家の朝政進出のきっかけをつくった。

冬嗣以降、良房、基経、実頼は e 摂政・関白の地位の独占をはかるとともに、天皇家との姻戚関係を基盤とする権勢を確立した。

その後、同家の道長は天皇の外祖父として権力をふるい、f 摂関政治は最盛期にいたった。しかし、道長の子・頼通の最晩年、藤原氏と外戚関係のない後三条天皇が即位すると、朝廷財政を立て直すために公領（国衙領）を守ろうとする g 延久の荘園整理令を出し、藤原氏は大きな影響を受けた。さらに、白河上皇が院政をしき、専制的な政治をおこなった。治承・寿永の乱で平氏政権が滅亡し鎌倉幕府が成立したころ、北家はいくつもの家流に分流し、「 [h] 摂家」と呼ばれた。

問1 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 内 臣 ② 右大臣 ③ 紫微令
④ 左大臣 ⑤ 大納言

問2 文章の に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 舎人親王 ② 刑部親王 ③ 草壁皇子
④ 大津皇子 ⑤ 大友皇子

問3 文章の に入れるのに最も適切な天皇の名を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 天 武 ② 持 統 ③ 文 武 ④ 元 明 ⑤ 元 正

問4 文章の下線部 d に「子の広嗣が兵乱を起こした」とあるが、このできごとの説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。すべて適切な場合は、⑥をマークしなさい。

- ① この乱は藤原四子が疫病により死去した後、橘諸兄政権のときに起きた。
② 藤原広嗣は僧玄昉と吉備真備を重用した橘諸兄政権に対し、不満をもっていた。
③ 藤原広嗣は藤原氏の朝政における勢力の回復をはかろうとした。
④ 藤原広嗣は赴任先の大宰府でこの反乱を起こした。
⑤ この乱を機に、数年のあいだ聖武天皇は遷都を繰り返した。

問5 文章の下線部 e に「摂政・関白」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 55

- ① 天皇が幼少の時と病気などの時、政務を処理するのが関白である。
- ② 藤原良房は醍醐天皇の摂政となった。
- ③ 藤原基経は臣下として初めて関白となった。
- ④ 宇多天皇は摂政・関白を置かなかった。
- ⑤ 摂政・関白は大宝・養老両律令に規定されている。

問6 文章の下線部 f に「摂関政治」とあるが、藤原氏による摂関政治を支えたものとして適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 56

- ① 天皇の後見人としての高度の権威
- ② 朝廷の人事権の掌握
- ③ 中・下級貴族たちの私的支配
- ④ 藤原氏の氏長者としての立場
- ⑤ 唐との外交政策の推進

問7 文章の下線部 g に「延久の荘園整理令」とあるが、この法令が出された最も適切な西暦年を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 57

- ① 1051 ② 1069 ③ 1072 ④ 1083 ⑤ 1086

問8 文章の h に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 58

- ① 一 ② 二 ③ 三 ④ 四 ⑤ 五

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、【地 図】を参照しながら、それぞれの設問に答えなさい。

1600（慶長5）年、の戦いに勝利した徳川家康は、1603（慶長8）年、征夷大将軍の宣下を受け、に幕府を開いた。しかし、・河内・和泉60万石の一大名になったとはいえ豊臣秀頼がおり、名目的に父_d秀吉以来の地位を継承していた。

1605（慶長10）年、家康は將軍職が徳川氏の世襲であることを諸大名に示すため、みずから將軍職を辞して子の秀忠にも將軍宣下を受けさせた。家康はに移ったが、大御所（前將軍）として実権は握り続け、豊臣氏が建立した京都の鐘銘を口実に戦いをしかけ、幕府は1615（元和元）年に豊臣氏を攻め滅ぼした。同年には_g武家諸法度（元和令）を制定して_h大名を厳しく統制した。

問1 文章のに入れるのに最も適切な地名の位置を、【地 図】上の①～⑩のうちから一つ選びなさい。

問2 文章のに入れるのに最も適切な地名の位置を、【地 図】上の①～⑩のうちから一つ選びなさい。

問3 文章のに入れるのに最も適切な地名の位置を、【地 図】上の①～⑩のうちから一つ選びなさい。

問4 文章の下線部dに「秀吉」とあるが、秀吉の事績として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 比叡山延暦寺を焼き打ちした。
- ② 京都の本能寺に滞在中の織田信長を襲撃した。
- ③ バテレン（宣教師）追放令を出して宣教師の国外追放を命じた。
- ④ ヤン=ヨーステン（耶揚子）を外交・貿易の顧問とした。
- ⑤ 大名の居城を一つに限ることを命じた。

問5 文章の に入れるのに最も適切な地名の位置を、【地 図】上の①～⑩のうちから一つ選びなさい。

問6 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 大徳寺 ② 清水寺 ③ 東 寺 ④ 方広寺 ⑤ 本願寺

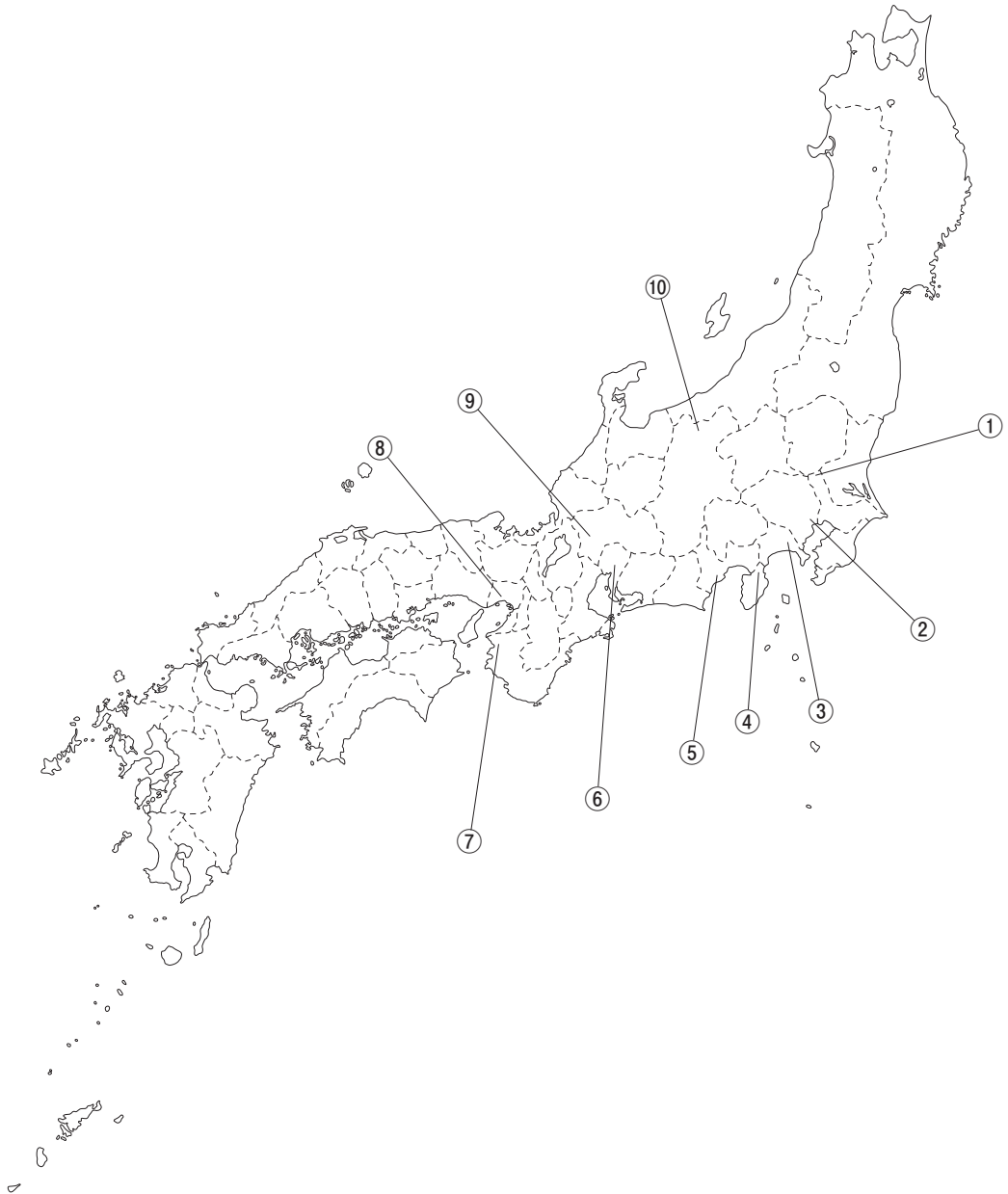
問7 文章の下線部 g に「武家諸法度（元和令）」とあるが、この説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 諸国の城は新しく築城することを禁止する。たとえ修理であっても必ず幕府に報告しなければならない。
② 大名・小名は国元と江戸とを参勤交代しなければならない。
③ 500石積み以上の船を建造してはならない。
④ 家督相続は、死の直前であっても、父親が50歳未満の者の場合、事情によってこれを認める。
⑤ 殉死を厳しく禁止する。

問8 文章の下線部 h に「大名を厳しく統制」とあるが、武家諸法度（元和令）に違反して処罰された大名として最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 浅野長政 ② 加藤清正 ③ 増田長盛
④ 長束正家 ⑤ 福島正則

【地図】



〔Ⅲ〕 次のア～ウの文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

ア 明治維新以来、薩摩・長州出身者を中心に組織した藩閥政府は、^a自由民権運動を推進する活動に対応しながら政権を担っていたが、1881年に国会の開設が決まり、政治体制に大きな変化が生じることになった。1890年、^b第1回衆議院議員総選挙を実施し、その結果、第一議會では民党とよばれた自由民権派の立憲改進黨や立憲自由党に所属する議員が過半数の議席を占めた。

すでに政府は、大日本帝国憲法の発布直後に、首相の^c黒田清隆が政党の意思に制約を受けずに政治をおこなうことを宣言していたため、第一議會から予算問題を中心に、政府と民党は激しく対立した。その後、民党の分裂もあったが、軍備拡張や条約改正の問題なども加わり、両者は日清戦争直前の第六議會まで対立を繰り返した。

問1 アの文章の下線部 a に「自由民権運動」とあるが、この運動のはじまりと位置づけられる、愛国公党が出した『民撰議院設立建白書』の本文として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい（山川出版社『詳説日本史史料集再訂版』より作成。文書は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある）。

67

- ① 天下ノ権力^{すべ}総テコレヲ太政官ニ帰ス、則チ政令^{すなわ}ニ途^にニ出ルノ患^{うらい}無カラシム。
- ② 将^{まさ}ニ明治二十三年ヲ期シ、議員ヲ召シ国会ヲ開キ、以テ朕ガ初志ヲ成サントス。
- ③ 自今^{じこん}撰閥幕府等廢絶、即今^{そっこん}、先ズ^ま仮^{かり}ニ、総裁・議定・参与ノ三職ヲ置カレ、万機^{ばんき}行ハセラルベシ。
- ④ 臣等^ふ伏シテ方今^{ほうこん}政権ノ帰スル所ヲ察スルニ、上帝室^{かみていつ}ニ在ラズ、下人民^{しも}ニ在ラズ、而^{しこう}シテ^{ひと}独^{ゆうし}り有司ニ帰ス。
- ⑤ 自今以後、一般ノ人民、華士族・農工商及婦女子必ズ^{むら}邑^{ふがく}ニ不学^こノ戸ナク、家ニ不学ノ人ナカラシメン事ヲ期ス。

問2 アの文章の下線部bに「第1回衆議院議員総選挙」とあるが、この選挙の内容として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 68

- ① 総議席数は300であった。
- ② 立憲改進黨が最多の130議席を獲得した。
- ③ 有権者は約45万人で総人口の約1.1%であった。
- ④ 選挙人は満25歳以上の男性で直接国税15円以上の納税者に限られた。
- ⑤ 被選挙人は満30歳以上の男性で直接国税15円以上の納税者に限られた。

問3 アの文章の下線部cに「黒田清隆が政党の意思に制約を受けずに政治をおこなうことを宣言」とあるが、この文書として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい（山川出版社『詳説日本史史料集 再訂版』より作成。文書は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある）。 69

- ① 蓋^{けだし} 国家独立自衛ノ道ニ二途^{にと}アリ。第一ニ主権線ヲ守禦スルコト、第二ニハ利益線ヲ保護スルコトデアル。
- ② 亜州ノ利益ヲ害シ、遂^{つい}ニ其諸邦国ヲシテ独立ヲ失ハシメントス、幸^{さいわ}ヒニ我邦ハ改良進歩ノ途ニアルヲ以テ決シテ容易^{わざわ}ニ其禍^{かか}ヒニ罹ルベカラズ。
- ③ 王室ノ尊榮ト人民ノ幸福ハ吾党ノ深ク冀望スル所ナリ。…政治ノ改良前進ハ我党之^こレヲ冀^{ねが}フ。然レドモ急激ノ変革ハ我党ノ望ム所^あニ非ラズ。
- ④ 政党ナル者ノ社会ニ存立スルハ情勢ノ免^{まぬが}レザル所ナリト雖^{いえども}、政府ハ常ニ一定ノ政策ヲ取り、超^{ちやうぜん}然政党ノ外ニ立チ、至正^{しせい}至中^{しちゆう}ノ道ニ居ラザルベ^{べか}可^{べか}ラス。
- ⑤ 現政府ハ此ノ如ク内外国家多難^{かんなん}ノ艱難ヲ切抜ケテ、今日迄来タ政府デア^あル。薩長政府トカ何政府トカ言ッテモ、今日国ノ此安寧^{このあんねい}ヲ保チ、四千万ノ生靈^{せいれい}ニ関係セズ。

イ 1894年6月まで開催した第六議会終了後に政府と民党は接近し、日清戦争後の第2次伊藤博文内閣は自由党と提携して板垣退助を [d] に、続く第2次松方正義内閣は進歩党と提携して大隈重信を [e] に迎えた。この提携は、政府が軍備を拡大して積極的な政策を遂行するために、政党の議員が多数を占める議会の支持を必要としたことが主な理由であった。この軍備拡大は多くの財源を必要とするもので、政府は地租の増徴を検討することになったが、増税に反対する政党は、この政策に応じることは難しかった。

その後、1898年1月に成立した第3次伊藤博文内閣は、地租増徴案を議会に提案したが、自由党と進歩党は結束して否決した。このことが主な原因となり、議会を解散して伊藤は退陣した。また、この間に自由党と進歩党は合同し、 [f] を結成した。

伊藤の退陣を受け、1898年6月に大隈重信が内閣を組織した。初の政党内閣として発足した第1次大隈内閣であったが、 [f] の内部で元自由党系と元進歩党系の対立が激しくなった。さらに文部大臣の ^g尾崎行雄がおこなった金権政治を批判する演説が不敬として問題となり、大隈内閣はわずか4カ月で退陣に追い込まれ、一方で [f] は分裂して元進歩党系は [h] を組織した。

問4 イの文章の [d] , [e] に入れる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 70

- ① d—内務大臣 e—外務大臣
- ② d—内務大臣 e—大蔵大臣
- ③ d—外務大臣 e—内務大臣
- ④ d—外務大臣 e—大蔵大臣
- ⑤ d—大蔵大臣 e—内務大臣
- ⑥ d—大蔵大臣 e—外務大臣

問5 イの文章の , に入れる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

- ① f—憲政党 h—憲政本党
- ② f—憲政党 h—立憲帝政党
- ③ f—憲政本党 h—憲政党
- ④ f—憲政本党 h—立憲帝政党
- ⑤ f—立憲帝政党 h—憲政党
- ⑥ f—立憲帝政党 h—憲政本党

問6 イの文章の下線部 g に「尾崎行雄がおこなった金権政治を批判する演説」とあるが、この演説文として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい（山川出版社『詳説日本史史料集 再訂版』および『詳説日本史B 改訂版』より作成。文書は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある）。

- ① 嗚呼自由党死す矣、^あ而^あして其^か光^{しこう}榮ある歴史は全く^{まっさつ}抹殺されぬ。
- ② 金本位実施ノ必要モハヤ疑ヲ容レズ。依^{よつ}テ爾^{じらい}来專ラ金^{きん}吸^{しつ}収ノ方策ヲ求メタリ。
- ③ 仮に日本に共和政治がおこなわれるとしたら、三井・三菱が大統領の有力候補となろう。
- ④ 政治上一般民衆を重んじ、其間に^{きせん}貴賤上下の別を立てず。而^しかも国体の君主制たると共和制たるとを問はず。
- ⑤ 日本程^{ほど}借^{こし}金を拵らへて、貧乏^{ぶる}震ひをしてゐる国はありゃしない。此^{この}借金が君、何時になったら返せると思ふか。

ウ 第1次大隈内閣の後を受けて内閣を組織したのは長州出身の山県有朋であった。第2次山県内閣は [f] との提携を復活し、財源確保のための地租増徴に成功した。しかし、 [i] を改正して政党と官僚の関係を制限したことで、 [f] は内閣と距離をおくことになった。その後、 [j] を定めて軍に対する政党の影響力を防ごうとし、また 治安警察法 を公布して労働運動や政治活動などに制限を加えた。その結果、 [f] は内閣と決裂して解党し、当時、政党設立を模索していた伊藤博文と合流し、伊藤を総裁とする立憲政友会を組織した。ここに、藩閥の中心的存在であった伊藤と、自由民権運動を推進した [f] の元自由党系が合同することになった。

問7 ウの文章の [i] , [j] に入れる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 73

- ① i—文官任用令 j—軍人勅諭
- ② i—文官分限令 j—軍人勅諭
- ③ i—文官任用令 j—軍令部条例
- ④ i—文官分限令 j—軍令部条例
- ⑤ i—文官任用令 j—軍部大臣現役武官制
- ⑥ i—文官分限令 j—軍部大臣現役武官制

問8 ウの文章の下線部kに「治安警察法」とあるが、この法令の第5条で政治結社へ加入を禁止されたものとして適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 74

- ① 警察官
- ② 労働者・小作人
- ③ 神官・神職・僧侶、その他諸宗教師
- ④ 官立・公立・私立学校の教員・学生・生徒
- ⑤ 現役および召集中の予備・後備の陸・海軍軍人